

「学校安全総合支援事業」埼玉県成果発表会

学校中が救命サポーター ～ASUKAモデル～



ASUKAモデルキースト

さいたま市立植竹中学校 校長 山下誠二

AEDを活かし、救命するためのチームワーク 救命サポータープロジェクトについて



うんこ救命ドリル・謎解き動画

日本AED財団×うんこドリル(文芸社)

① うんこ救命ドリル

プレイ形式: (URL)の学校電話番号を打てばOK!



URL: https://play.google.com/store/apps/details?id=com.itsmeanz_app

② 謎解き動画

中学校～大人向け

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=VfC4U-PSQgI>

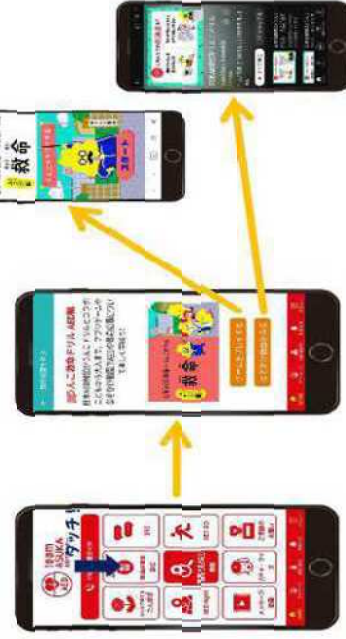


URL: <https://www.youtube.com/watch?v=2B-8qz0j85Q>

うんこ救命ドリル・謎解き動画

日本AED財団×うんこドリル(文芸社)

救命サポーターアプリ「Team ASUKA」よりアクセスできます。



■ 桐田明日香ちゃん



■ 桐田家



■ 桐淵元教育長



事故の概要

平成23年9月29日16時04分頃

- 市立小学校6年生の桐田明日香さんが、駅伝大会の課外練習中に倒れる。
- 現場で指導していた教員等は「脈がある」「呼吸がある」ととらえ、心肺蘇生及びAED装着は行っていない。



平成23年9月29日16時15分

- 到着した救急隊がC P A（心肺停止）であることを確認する。
- 心肺蘇生を開始する。

平成23年9月29日16時37分

- 救急隊から医師に引き継ぐ。

平成23年9月30日21時48分

- 死亡を確認する。

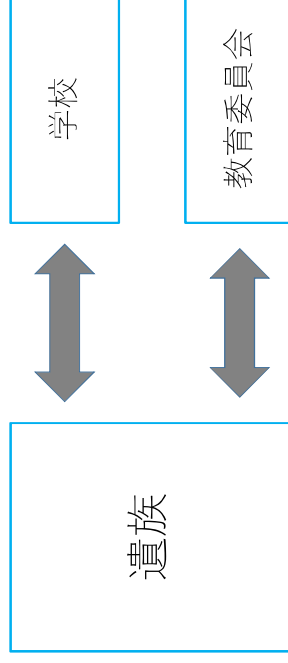
遺族と行政・学校とのボタンの掛け違いが始まった!

死亡時刻

■ 新聞報道 9月30日 **21時30分**

■ 実際は 9月30日 **21時48分**

他にもさまざまなボタンのかけ違いが・・・



10月5日 教育委員会幹部会議

■ 桐淵教育長



山下 行け

校長と自宅へ

■ 両親・母親の友人

お子様を元気にたまたまと自宅に戻すことができなく、
申し訳ありませんでした。

約1時間、フローリングの床に正座をして話を聞く

当然のことながら、足がしびれて立てない

[当時の山下の体重は、90kg]

山下さん、あなたがここで倒れても、
私たちは蘇生しませんからね！

この日以降、桐田家への訪問が始まる

遺族

教育委員会

学校

さいたま市立小学校児童事故対応検証委員会

1 委員 ※敬称略

- (1) 医師
 - ・ さいたま赤十字病院 救命救急センター長・・・清田 和也
 - ・ 自治医科大学附属さいたま医療センター 教授・・・藤原 俊文
 - ・ さいたま市4医師会連絡協議会議長（岩槻医師会会長）・・・峯 真人
- (2) 救急救命士
 - ・ さいたま市消防局警防部救急課参事（兼）課長・・・関根 正明
- (3) 学識経験者
 - ・ 杏林大学 教授・・・橋本雄太郎
- (4) 保護者代表
 - ・ さいたま市PTA協議会 会長・・・磯田 和男
- (5) 校長代表
 - ・ さいたま市小学校校長会 会長・・・佐藤 博志

3 検証結果 報告書 7～8頁

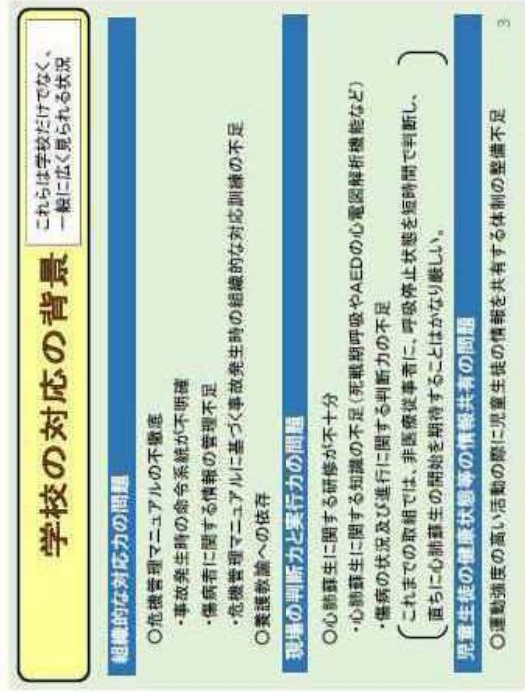
- ① 学校は、事故発生時、自校の危機管理対応マニュアルに沿った対応を行っていたが、**現場責任者の的確な指揮・命令に基づく組織的な危機管理体制**が十分に確立されていないかった。
- ② 学校は、現場の判断として心肺蘇生は行わなかった。しかし、養護教諭を含む教職員は**医療従事者ではない**ことから、脈拍の異常や呼吸停止状態を短時間で判断し、直ちに心肺蘇生の開始を期待することはかなり難しいものであった。
- ③ 学校は、児童の**健康状態の情報について十分な共有化がなされておらず**、早急な改善が必要である。
- ④ 消防局救急隊には、救急活動上の問題はないと言える。しかし、今後の**口頭指導**については検討する余地がある。また、応急手当の指導に当たっては、心停止の認識について、一般市民が理解し実践できる方策について検討していく必要がある。
- ⑤ 医療機関は、考えられる最大限の処置（経皮的心肺補助、IABP）を行った。これによって蘇生後に循環を維持できなかったことを考慮すると、本患児においては**何らかの治療困難な重篤な病態**があったものと推察される。

2 開催期日

- 第1回 平成23年10月25日（火）
19時00分から21時30分
- 第2回 平成23年11月10日（木）
19時00分から22時23分
- 第3回 平成23年12月13日（火）
19時00分から21時53分
- 第4回 平成24年 2月 9日（木）
19時00分から22時28分

4 今後の対応に関する提言 報告書 8～9頁

- ① 教育委員会は、「危機管理対応マニュアル」（さいたま市学校健康教育必修に掲載している「緊急時の対応マニュアル作成例」）を早急に見直し、各学校に内容を周知し、**実践的な訓練の場**を設ける必要がある。
- ② 教育委員会は、養護教諭を含む全ての教職員に対し、AEDの使用を含む心肺蘇生法の技能の向上に努めるとともに、**児童生徒に対しても、AEDを含めた応急手当に関する学習機会を設定し**、緊急時の対応に備える取組を行う必要がある。
- ③ 教育委員会は、「体育活動時の健康観察カード」等を提示し、**教職員が児童生徒の健康状態に関する情報が共有できる体制**について整備、強化し、**的確な判断**に結びつけるための指針づくりを行う必要がある。
- ④ 教育委員会は、子どもやその家族及び学校教職員に対して、**専門家による心のケア**などの精神的支援が必要となる。



指導開始前のチェックリストの例

観 点	チ ャ ッ ク 項 目
未然 防止	1 天候については、どのような留意を要するのか。
	2 健康上配慮を要する児童生徒は誰か、また、どう配慮するのか。
	3 指導者の役割分担は、明確になっているか。
	4 活動の場は、安全が確保されているか。
事故発生時の 対応	5 AED等の重大事故発生時携行機材は、どこにあるか。
	6 管理職の所在を把握しているか。
	7 養護教諭の所在を把握しているか。
	8 事故発生時における指揮命令者は、誰か。

指揮命令者（近くにいる管理職又は教職員）

応援者への指揮命令

- 応援に駆けつけた教職員に、応急手等を指示します。
- 指示した内容が確実に行われているか、報告させます。
- 指示や報告については、リードバック・ヒアバック（復唱確認）で行います。

指導後のチェックリストの例

観 点	チ ャ ッ ク 項 目
児童生徒の状況	1 健康上配慮を要した児童生徒は、どのような状況か。
	2 けがをしたり、具合が悪くなったりした児童生徒は、どのような状況か。
	3 この後、学校や家庭において継続観察が必要とされる児童生徒には、どのように対応するか。
4 児童生徒の運動強度は、適切であったか。	
5 指導者の役割分担は、適切であったか。	

そこで、さいたま市の児童・生徒は・・・
いのちの支え合い（AEDを使った心肺蘇生法）

さいたま市が目指す児童・生徒像

○中学校第1学年段階で、全ての生徒がAEDの使用を含む心肺蘇生法を行うことができる。

系統的・計画的に、発達の段階に応じた「応急手当の学習」を実施。

事故発生時に自分ができる最善の行動をとることができる。

いのちの支え合い (AEDを使った心肺蘇生法)

学校学年	関連する教科・領域単元	応急手当に関する内容
小学5年	○体育科 G保健 (2) けがの防止 イ・けがの手当て	・助けを求める ・胸骨圧迫ができる ・AEDについて知る ・【救命入門コース】
小学6年	○体育科 G保健 (3) 病気の予防 オ・地域の様々な保健活動の取組	・助けを求める ・胸骨圧迫ができる ・AEDが使える ・【救命入門コース】
中学1年	○保健体育科 (保健分野) (1) 心身の機能の発達と心の健康 ア・身体機能の発達 (呼吸器系、循環器系) ○総合的な学習の時間、特別活動など	・AEDの使用を含む 心肺蘇生法の実習 ・【実技救命講習】
中学2年	○保健体育科 (保健分野) (3) 傷害の防止 エ・応急手当 (心肺蘇生法等) ○総合的な学習の時間、特別活動など	・AEDの使用を含む 心肺蘇生法の実習

★いのちの支え合い (AEDを使った心肺蘇生法)

○小学校5・6年生で
「救命入門コース」 **45分×2 (90分)**

+

○中学1年生で
「実技救命講習」 **50分×2 (100分)**

普通救命講習I修了



しかし、人間って……

人間は、見たいものを見る習性がある！



そして……

人間は、依存性の高い動物である

14歳の中学生たちが心停止に陥った教師をAEDで救命！(鎌倉市立第一中学校)

- ・休日の中学校で、バスケットボール部の顧問教師が倒れ、そこには生徒たちしかいなかった
- ・誰も携帯電話を持っていない
- ・初めて触る本物のAED
- ・通報から11分で消防車が来て、22分で救急車が来た
- ・救急車が去った後、教師たちが駆けつけた
- ・2年生のときの救命授業が役立った

もし、職員室に先生がひとりのいたら・・・

学校管理下の死亡事故と突然死 (H24～R3年度)
(小、中、高、高専、特支、幼、保 死亡見舞金給付事例数)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計	割合
小学校												
管理下死亡数総計	13	8	8	9	12	8	13	9	4	7	91	
突然死	9	2	5	4	7	3	6	7	3	4	50	55%
中学校												
管理下死亡数総計	8	27	22	22	12	16	26	19	10	16	178	
突然死	4	11	9	7	1	8	6	7	1	3	57	32%
高校・高専												
管理下死亡数総計	17	20	11	23	19	25	28	18	25	16	202	
突然死	8	6	6	12	9	7	9	6	12	7	82	41%
特別支援学校												
管理下死亡数総計	4	4	6	6	2	5	2	8	2	3	42	
突然死	4	1	4	6	0	4	2	5	2	2	30	71%
幼稚園・保育所												
管理下死亡数総計	6	4	4	3	2	3	5	2	3	0	32	
突然死	2	3	1	1	2	3	2	0	1	0	15	47%
計	48	63	51	63	47	57	74	56	44	42	545	
突然死	27	23	25	30	19	25	25	25	19	16	234	43%

日本スポーツ振興センター資料から見る年度別推移 (H24～R3年度)
学校管理下の死亡事故と突然死 (小、中、高、高専、特支、幼、保 死亡見舞金給付事例数)

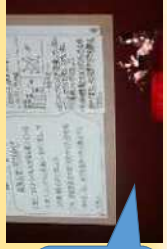
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計	割合
管理下死亡数総計	48	63	51	63	47	57	74	56	44	42	545	
その他頭部外傷、窒息死、内臓損傷等	21	40	26	33	28	32	49	31	25	26	311	
突然死	27	23	25	30	19	25	25	19	16	16	234	43%
a.体育・保健体育の授業	2	1	4	3	3	1	4	4	0	6	28	12%
b.体育的行事	1	1	1	3	0	0	2	1	0	0	9	4%
c.運動部活動、課外運動活動	5	11	6	5	6	9	5	5	4	1	57	24%
d.遠足・修学旅行等	3	1	2	3	0	2	3	1	0	0	15	6%
e.休憩時間中	4	1	4	5	0	3	2	3	4	1	27	12%
f.登下校中	2	2	2	5	3	4	4	6	6	4	38	16%
g.保育人(SIDS等)	2	3	1	1	2	3	2	0	1	0	15	6%
h.寄宿舎内	3	1	1	0	0	0	0	0	3	1	9	4%
i.その他	5	2	4	5	5	3	3	5	1	3	36	15%
うち運動場面	8	13	11	11	9	10	11	10	4	7	94	40%
その割合	30%	57%	44%	37%	47%	40%	44%	40%	21%	44%	40%	

学校の危機意識を高めるには・・・

■ 市立学校の児童生徒による 「主体的な救命活動の取組」 の発表

三室小学校 主体的な救命活動の取組

救命活動の大切さを学び、全校生徒で三室小学校の学区内のAEDマップを作成しました。



大宮北高等学校 ASUKAモデルの普及とこれからの社会に向けて

ASUKAモデル完成までの経緯を取材し広報するなど、これからは、若い世代の活躍が不可欠であることを呼びかけました。



大谷場中学校 ASUKAモデルを踏まえた校内での救命体制の確立に向けて



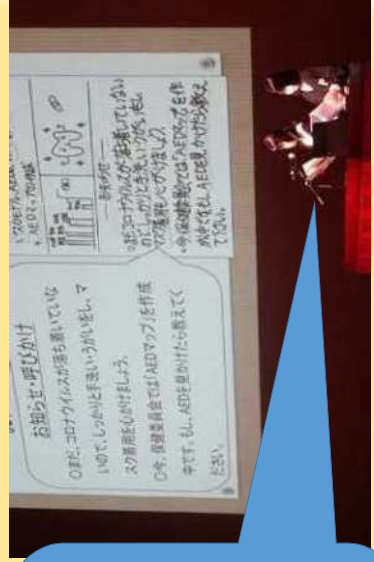
「救命活動に自信がある」生徒が約2割だった実績から、委員会横断の「大谷場中しスキューサポートチーム」を創設しました！



■ 市立学校の児童生徒による 「主体的な救命活動の取組」 の発表

三室小学校 主体的な救命活動の取組

救命活動の大切さを学び、全校生徒で三室小学校の学区内のAEDマップを作成しました。



■ 市立学校の児童生徒による 「主体的な救命活動の取組」 の発表

大谷場中学校 ASUKAモデルを踏まえた校内での救命体制の確立に向けて

「救命活動に自信がある」生徒が約2割だった実績から、委員会横断の「大谷場中しスキューサポートチーム」を創設しました！



■ 市立学校の児童生徒による 「主体的な救命活動の取組」 の発表

大宮北高等学校 ASUKAモデルの普及とこれからの社会に向けて



ASUKAモデル完成までの経緯を取材し広報するとともに、救命活動のこれからは、若い世代の活躍が不可欠であることを呼びかけました。

■ ASUKAモデル ～学校中が救命サポーター～

学校中が救命サポーター～ASUKAモデル～

人が倒れたら、

「大丈夫ですか？」

皆がかけよりに、協力し助け合う



進め

■ 「明日 (あす) も 進む いのちの日」 の制定

毎年9月30日を「明日 (あす) も 進む いのちの日」と制定

全市立学校において、

AEDの一斉点検及び児童生徒へAEDの設置場所等の確認を行います

【期 日】 9月30日(火)
 【実施期間】 9月30日の前後1週間
 【実施事項】 A AEDの一斉点検
 イ 児童生徒へAEDの設置場所等の確認



実施場面例：朝の会、帰りの会、学年/全校集会等
 指導方法例：AED設置場所を見せ、説明する。
 校舎内見取図等を使用し、説明する。
 AEDの動画を視聴し、説明する。



令和4年10月15日 毎日新聞

私の学校(植竹中学校)では...





その命 あなたにも救えます



ASUKAとは、2011年に市の小学校で駅伝の練習中に心肺停止となり、AEDが使用されることなく亡くなった横田明日香さんのことです。必要時AEDを使うことが、大好きなみんなを救える「明日」へ！彼女が強い未来を築くために作られた救命サポーター「teamASUKA」です。アプリを入れて、あなたも救命サポーター部隊として命をつなげるチームの一員になりましょう。

teamASUKA」アプリの機能

本物の心臓モニター RAED NEWI 本機でのAED 設置場所検索
メッセージ機能 心AED GO 女の子・クイズ 等

さいたま市立植竹中学校

ご清聴、ありがとうございます。

先生方の力で、生徒を

「元気に登校」「笑顔で下校」

させましょう。

データが必要な方は

uetake-js-01@city.saitama.jp

まで御連絡ください。

その避難訓練，形骸化していませんか？

廣徳義塾大学 環境情報学部 准教授 大木聖子

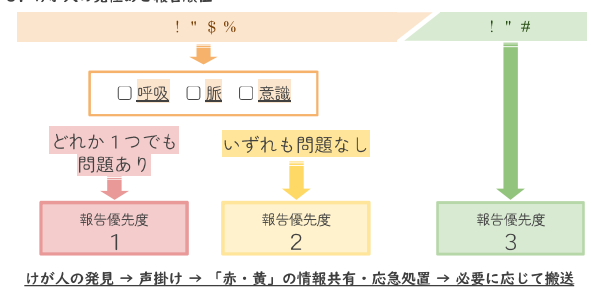
第三次学校安全推進計画で改善を指摘

1. 現状の訓練の課題 → 校庭以外の避難先が検討されていない
- ・雨天だったら？
 - ・けが人が出たら？ 腰が抜けたら？
 - ・過呼吸で立ち上がれなかったら？
 - ・校庭への道中で怪我をしたら？
 - ・校庭が液状化したら？
 - ・立て続け余震の中，集団で急いで階段を移動して校庭に向かうことへのリスク
 - ・阪神淡路大震災以降，耐震化された学校・新耐震基準の学校に倒壊事例なし
- 過去の学校管理下での地震災害で実際に起きている

→ 校庭避難の他に「教室内待機」の訓練もやって，安全に避難できる場所を増やしましょう

2. 「教室内待機」かつ「けが人あり」を実動訓練で再現して見えてきた課題
- ・保健室がバンク状態
 - ・軽症者から次々に搬送されてきて大混乱 → 下記3を参考に改善可能
 - ・停電下の情報共有が困難
 - ・重症者の情報が共有できないまま時間が経過
 - ・引き渡しの開始情報がないまま個別に対応
 - 何の情報を / 誰が / どこへ / どのように 伝達するのかを決めておく
- 次ページ以降の封筒訓練で改善可能

3. けが人の見極めと報告順位



訓練は，うまくやるのが目的ではありません。学校全体で，発災時の課題を見つけ，自校の情報共有のあり方や本部の設置場所等について考える機会としましょう。

訓練の課題や改善点，実動訓練の映像などが10分にまとまった動画です → 実動訓練用に作成したのですが，参考情報としてご活用ください。（リンクは校内に留めてください）



封筒訓練を始める前に

□ 教室内待機を周知しましょう

- 「教室内待機バージョンの訓練をやる日」「火災や津波は想定しない」などを教職員に周知しましょう。

□ けが人が出たら，フロアと本部への情報共有

- 停電していて，放送や電話も使えません。
 - もしけが人が出たら，どのように応援要請をする？
- フロアに情報共有・本部に救急要請

□ 情報共有の方法を決めましょう

- フロアでまとめてから誰かが本部に行く？
- 管理職が全教室をまわる？
- 中央階段に情報を集めて，そこを管理職が確認？
- 校庭から管理職がハンドマイク？
- トランシーバーの活用？

→ 校種や規模，校舎の構造によって方法はさまざま
 自校にとって，今年度のメンバーにとって，一番いい方法を
 試行錯誤しましょう。そのための訓練です。
 （予定調和にうまくやるために訓練があるものではありません）

□ 本部の場所を決めましょう

- 本部は，校長室？ 職員室？ 担架のある場所？
- けが人を急いで保健室に搬送したい担任の動線を考えて，本部（発災直後の臨時的な本部）の配置場所を決める。
 - 過去の訓練事例では，保健室前の廊下とした学校が比較的うまく情報共有をしています。ご参考まで。

封筒訓練 教材キット

● 目的：

- 情報共有のあり方，本部の設置場所などの改善点を探すために行う教員向けの訓練。うまくやることは目的ではない。

● ポイント：

- 「学校全体のどこで何が起きているのか誰も把握できていない状況」にしない。

個人としての目標

- ・ 重症度の判断
- ・ 応援要請・応援対応
- ・ 全体を俯瞰した動きを意識

組織としての目標

- ・ 赤・黄のけが人の情報共有（報告・収集）
- ・ 担架の持ち出し先の決定・搬送

○ チームとして動く

- 困ったら声を上げる / 念のための伝達も臆せずにする。
- まずはフロア内でOne Team. 次いで，学校全体でOne Teamとなる。
- 臨機応変にそれぞれの教員が自分で考えて動く。

あくまでも教員間の連携が目的。封筒内のけが人が赤・黄・緑の何に対応するかを判断できるようになることは目的ではない。

色判断を間違えても，自信がなくて他の教員と相談してもいい。訂正してもいい。大事なのは，それらができる雰囲気为学校がなっているかどうか。

封筒訓練のやり方（準備編）

1. クラスの数だけ封筒を用意する（使い古しでOK）。
2. 本資料にある「けが人カード」を印刷して切り離す。学校の規模にもよるので，下記はあくまで目安：
 - ・ 色なし → 全クラスに複数枚
 - ・ 緑 → 全クラスに数枚
 - ・ 黄 → 学校全体で2-5枚
 - ・ 赤 → 学校全体で1-2枚
3. 用意した封筒にランダムに入れる
 - ✓ ランダムと言いつつ，低学年には赤は入れない，フロアごとにバランスを取る，などは自由に采配。



クラスの数だけ封筒を用意

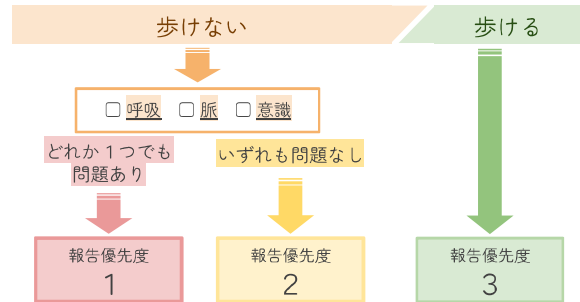
封筒訓練のやり方（実施編）

- 各教員は封筒をもらう。訓練開始まで開けない。
- 訓練開始、子どもたちへの声掛け後に開封。
- 情報伝達の開始：
 - ・ Step1：封筒内の重症度を判断
 - ・ Step2：フロアで情報共有（無事報告/応援要請）
 - 赤・黄なし → 廊下に出て「〇組無事です！」
 - 赤・黄あり → 「〇組、赤です！ 応援お願いします！」
 - ・ Step3：本部へ報告
 - ※ **学校ごとのやり方で本部へ情報共有**
(試行錯誤のために本訓練を活用する)
- 訓練の終了：以下のいずれでも良い
 - 時間で終わらせる（15分たったら終了、など）
 - 本部が情報共有したら終了
 - 本部の情報共有をフロアに戻して終了
 - 赤・黄のカードを担架で保健室に搬送して終了。
 - 赤・黄のカードを担架で保健室に搬送、本部の情報をつフロアに戻し、引き渡しの開始を宣言して終了



色なしカード

- 赤・黄・緑のいずれのけが人でもないが、不安などで平静ではない状態。
- どのクラスにも複数枚（何枚でも）入れてよい。



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



- 状態：断水・停電
- 大きな地震がおきて不安。
 - けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる。
 - 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている。



- 状態：断水・停電
- 大きな地震がおきて不安。
 - けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる。
 - 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている。



- 状態：断水・停電
- 大きな地震がおきて不安。
 - けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる。
 - 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている。



- 状態：断水・停電
- 大きな地震がおきて不安。
 - けがをしたお友達がいることがわかって、どんどん不安になる。
 - 「こわいよー」「おうちに帰りたい」などを言っている。



- 状態：断水・停電
- 「家族が心配だから帰る」「おうちに帰る」と連呼して、外に出ようとしている。



- 状態：断水・停電
- 「家族が心配だから帰る」「おうちに帰る」と連呼して、外に出ようとしている。



状態：断水・停電

- 「水筒の中身がなくなっちゃった」「のどがかわいた」と言って、イライラしている。



状態：断水・停電

- 「トイレに行きたい」「もれちゃう」と言っている。



状態：断水・停電

- 不安が高まり、「みんな死ぬんだ」「もう終わりだ」などわけのわからないことを言っている。
- 周囲の子もたちがどんどん不安になっている。



状態：断水・停電

- サルのポーズをしているときに、指をはさんでしまった。
- 出血はしていない。
- 指がはれて「痛い、痛い」と言いながら、助けを求めている。



状態：断水・停電

- うでを切ってしまった。
- 血が出ている。
- 「先生、痛いよー」と言いながら近づいてきた。



状態：断水・停電

- 強いゆれで転んで、ひざをすりむいた。
- 痛さと不安とで、今にも泣き出しそう。



状態：断水・停電

- 強いゆれで転んで、ひざをすりむいた。
- 痛さと不安とで、今にも泣き出しそう。



状態：断水・停電

- 強いゆれや何度も起きる余震で、不安が大きくなり、お腹が痛くなる。
- 「トイレに行きたい」と言っている。
- トイレは断水している。

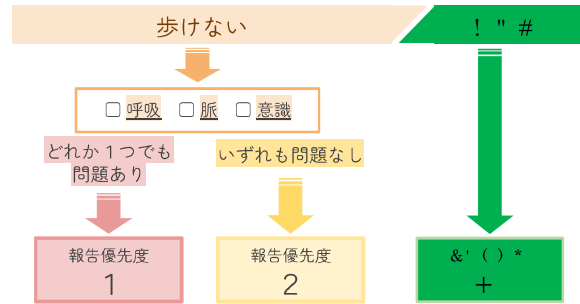


状態：断水・停電

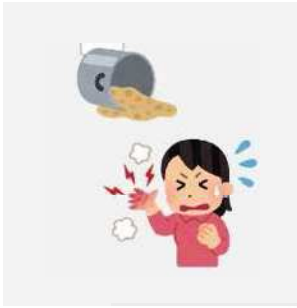
- 強いゆれや何度も起きる余震で、不安が大きくなり、お腹が痛くなる。
- 「トイレに行きたい」と言っている。
- トイレは断水している。

緑カード

- けがをしているが「歩ける」状態。
- どのクラスにも複数枚入れてよい。



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



- 状態：断水・停電
- 給食の熱い食缶がたおれて手にかかり、やけどをした。
 - 右手の3本くらいが赤く水ぶくれになっている。
 - 「熱い！熱い！」と言っている。



- 状態：断水・停電
- 地震がこわくて、過呼吸になっている。
 - フラフラしているが、支えれば歩ける。
 - 余震や悲鳴に反応して、過呼吸をくり返す。



- 状態：断水・停電
- 地震がこわくて、過呼吸になっている。
 - フラフラしているが、支えれば歩ける。
 - 余震や悲鳴に反応して、過呼吸をくり返す。



- 状態：断水・停電
- 強い揺れで転んでしまい、右足の親指を強くぶつけた。
 - 痛くて苦しんでいる。歩けない。
 - 靴をぬがすと、内出血しており、かなりはれている。



- 状態：断水・停電
- 給食の熱い食缶がたおれて右手と右足の膝から下全部にかかり、大やけどをしている。
 - 「熱い！熱い！」と泣き叫んでいる。



- 状態：断水・停電
- 地震の揺れで気持ち悪くなった。
 - 身動きが取れないほどの腹痛もある。
 - 寒気がして、ガタガタふるえている。



- 状態：断水・停電
- トイレからうめき声が聞こえてくる。
 - 身動きが取れないほどの腹痛。
 - 寒気がして、ガタガタふるえている。



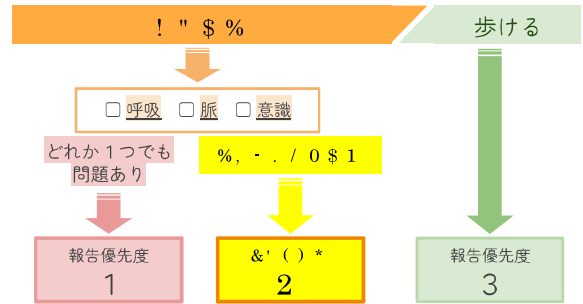
- 状態：断水・停電
- 突然の地震に驚いて腰がぬけてしまった。
 - 立つこともできないが、本人も何がなんだか分からない状況。



- 状態：断水・停電
- 突然の地震に驚いて腰がぬけてしまった。
 - 立つこともできないが、本人も何がなんだか分からない状況。

黄色カード

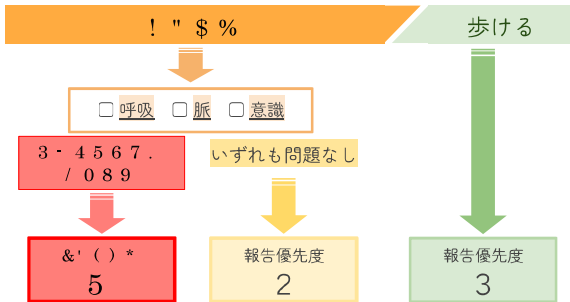
- 「歩けない」けがをしている。意識や呼吸・脈には異常なし。
- 学校全体で2～5枚くらい。



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有

赤カード

- 「歩けない」けがをしており、意識や呼吸・脈に異常がある。
- 緊急を要するけが。
- 学校全体で1~2枚くらい。



けが人の発見 → 声掛け → 必要に応じた情報共有



状態：断水・停電

- 揺れにおどろいて階段から落ち、足首をひねった。
- 痛くて何も話せない。
- 肩を借りても歩けない。
- 時間がたつと、吐き気や寒気がしてくる。



状態：断水・停電

- 揺れにおどろいて転び、お腹を強く打ち付けた。
- とっても痛がっている。
- 話しかけても返事がうつろ。
- 視点を合わせて話せない。



状態：断水・停電

- ゆれにおどろいて階段から落ち、頭を打った。
- 大量出血している。
- 最初は返事をしているが、だんだんと話しかけても反応しなくなってきた。

令和5年度「学校安全総合支援事業」埼玉県推進委員会
推進委員及び学校安全アドバイザー等一覧

【学校安全アドバイザー】

埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科教授	高橋 宏至
慶應義塾大学環境情報学部地震災害研究室准教授	大木 聖子
県警察本部交通部交通総務課課長補佐	中村 聡
県警察本部生活安全部生活安全総務課課長補佐	軽部 智広
気象庁熊谷地方気象台調査官	山城 幸浩
気象庁熊谷地方気象台地震津波防災官	石束 貴幸
気象庁熊谷地方気象台気象情報官	入福 敏行
県教育局西部教育事務所教育支援担当指導主事	墨谷 悦史

【推進委員】

公益財団法人埼玉県消防協会次長	千装 良治
気象庁熊谷地方気象台次長	松下 正志
県教育局県立学校部参事兼保健体育課長	松中 直司
埼玉県安全教育研究協議会長（八潮市立八潮中学校長）	土谷 昌秋
埼玉県高等学校安全教育研究会長（県立熊谷商業高等学校長）	竹越 利之
県教育局南部教育事務所教育支援担当指導主事	熊田 大樹
県教育局西部教育事務所教育支援担当指導主事	兒玉 直也
県教育局北部教育事務所教育支援担当指導主事	小林 良
県教育局北部教育事務所秩父支所教育支援担当指導主事	横山 祐樹
県教育局東部教育事務所教育支援担当指導主事	堀江亨一郎
狭山市教育委員会学校教育課教育指導課指導主事	瀧口 孝司
深谷市教育委員会学校教育課課長補佐兼指導主事	大竹 真人
吉川市教育委員会教育部学校教育課副主幹	清水 郁
県立進修館高等学校長	加藤 浩
県立三郷高等学校教頭	勝部 武
県危機管理防災部危機管理課震災予防担当主幹	山崎 修

【事務局】

県教育局県立学校部保健体育課教育指導幹	大松 武晴
県教育局県立学校部保健体育課健康教育・学校安全担当主任指導主事	遠井 学
県教育局県立学校部保健体育課健康教育・学校安全担当指導主事	阿久津広真
県教育局県立学校部保健体育課健康教育・学校安全担当指導主事	山田 朗
県教育局県立学校部保健体育課健康教育・学校安全担当主事	金井 孝太



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」